

文芸 さくらがわ

俳句

〔大和俳句愛好会〕
今日もある命一つや終戦日

古橋 益子

年輪の深さは知らず柚子の花

安達 幸子

盆自宅ははの手順に従えり

鈴木 つぎ

夏萩や匠の古刹風の音

岩瀬 のぶ子

一人にもある幸せや柏餅

田中 はつひ

植田早や物を写さぬ濃さとなり

皆川 和子

晩学のこの夏越える気迫かな

鈴木 登美子

身のほどの幸せなりし半夏生

田代 てい子

万緑の中の子等達 皆元気

代田 とし



短歌

〔花の室 木崎集〕

歳月を超えて来たりしことばかな揺れやまぬ
合歓の大樹見えぬき

塚田 沙玲

卒業し大学寮に入る子のひげ濃くなるをまじ
まじ見入る

石浜 今日子

退職の祝の時計は寢室に 始まる一日の鼓動
を刻む

大久保 まさ子

断捨離を決めても心はゆらぎつつへ体ない
が頭をよぎる

櫻井 ハル子

節くれの指より奏でるノクターン麦秋香るこ
の野良渡る

塩谷 明子

草刈機に巣を追はれしか小綬鶏のチョットコ
イチョットコイひびく裏山

鈴木 とみ

贈られし退職記念のプローチは淡いブルーの
友の手づくり

塚本 幸子

よそ行き言葉めきたるお茶の間に私一人
が近江のことば

西岡 和子

愛といふ文字や言葉に惑ひつつ友と生きたる
十八の春

野村 幸男

夫のゐる彼岸の国に大地震も津波もなくて咲
く蓮の花

深谷 快子

〔岩瀬短歌会〕

スカイツリー開業は我が誕生日記憶に溜まる
六十八歳

大久保 登美江

洋上に並ぶ風車は原券の代りなりや雄大に立つ

飯田 良江

老いゆくは哀しきまでに避けられず今宵娘ら
にと装飾品数ふ

萩原 きのの

真つ暗のあの日の空を忘れないつくばに竜巻
起こりたりしぞ

山田 しげの

友送ると行きたる車案じをり雨はにはかに雹
となりぬ

古賀 澄

餌を拾ふすべ知らぬ子雀群にをり親雀寄りて
餌を口移す

片岡 喜知子

陽を浴びて植田の畔道歩きつつ脳裏をよぎる
骨密度数

石田 守子

かはりゆく金環日食をまさかにし感動しつつ
水張田に見る

滝井 幸子

〔岩瀬短歌会〕
麦秋の黄金の色のさはさと揺れて流るる風
の道すぢ

大関 節子

大きな岩に千条の絹糸晒すこと澱みなく落つ
る袋田の滝

安達 悦子

月淡く鬼怒の湯の香のやさしくて灯りに浮か
ぶ母の面影

安達 すみ子

音もなく降る雨の雫手にうけてひらきし傘に
あじさいのつゆ

角田 玉枝

納屋内に小さき卵の殻の落つくつ生れしや
つばめ巣籠もる

坪井 ゆき子

大自然を満喫できる美ヶ原根雪のこれる友と
散策

長谷川 玲子

すずらんを君影草と人は呼ぶ愛しき小鈴のふ
るふるゆるる

石川 喜代

8月27日(月)
市長と話してみませんか?
～市民の日～

市民の皆様の声を行政に反映するために、市長とお話ししてみませんか。話題はなんでも結構です。皆様のご来場をお待ちしています。

- 時間 / 9時～12時・13時～16時
- 場所 / 市役所 大和庁舎
- 問合先 / 秘書広報課 (☎58-5111・75-3111 代表)